

古代オリエント談義

～古代を生きた人々と、現代を生きる私たちとの接点～

講師 宮下佐江子

2018 05月03日(木)

14:30 開場
15:00 開講 (約2時間、途中休憩あり)

会費2,500円+2drinks order
(1drink 600円～)

CAFE **B**EULMANS
03-3484-0047
info.cafebeulmans@gmail.com
東京都世田谷区成城6-16-5-2F



ゴールデンウィークは、古代オリエントの時代にタイムトラベル！古代エジプト、古代メソポタミア、古代ペルシアは文明発祥の地であり、アジア、ヨーロッパ、アフリカが交差しています。見事な建造物や美術品と共に、ビールやワインも創られました。そして、6,000年前の古代人も人間であり、人間関係の悩み等、私たちと全く変わりません。古代オリエント文明の専門家をツアーコンダクターに、皆でタイムトラベルしましょう！

宮下佐江子 プロフィール

東京生まれ。上智大学史学科東洋史専攻。卒業後、指導教官の江上波夫先生が池袋サンシャインシティ内に設立準備中だった古代オリエント博物館に研究員として、採用され、2017年に定年退職。1990年より奈良県立橿原考古学研究所によるシリア・アラブ共和国パルミラ遺跡調査団に美術史班として参加。現在、国士舘大学イラク古代文化研究所共同研究員。国士舘大学、大東文化大学、実践女子大学で西アジア考古美術史、博物館学などの非常勤講師を務める。専門はパルミラの彫像作品の諸要素の分析とポストヘレニズム時代の東西文化交流。



ベル神殿 (シリアのパルミラにある古代の石造遺跡)